

あなたなら きっと できる！

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第5号 令和元年7月5日発行

高等部1・2年生 現場実習へ！！

本校の高等部 A コースの生徒は、夏休みを中心に現場実習を行います。これは、実際の職場を体験することにより、働くことの意味や社会のルールを知り、労働への意欲を高めることを目的として、実施しています。2年生までに生徒全員が1回は体験できるように、各企業や事業所等をお願いをしています。

現場実習の前に、まず企業や事業所の担当の方と打ち合わせを行います。生徒によっては、初めて担当の方から名刺を頂き、ドギマギすることもあります。実習とはいえ、職場では社会人としての振るまいが求められます。また、大宮ろう学園の代表だということも忘れずにしっかりとした態度で臨むことも大切です。今年度は、14名の生徒が夏休み中に現場実習に行く予定です。ほとんどの生徒は一週間(5日間)です。学校の授業とは違い、一日中立って仕事をするとところがほとんどです。休憩時間の取り方も違います。

暑い夏ですので体調管理に気をつけて、万全な体調で実習に参加し、学校では学べないことをたくさん学んできてほしいと思います。慣れない環境で、戸惑うことも多くあると思いますが、ご家庭でのご支援もよろしくお願い致します。

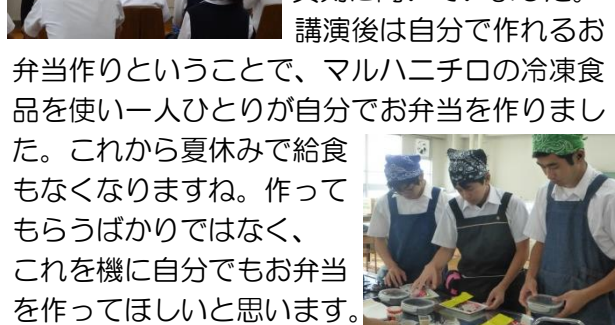


マルハニチロ社員による食育&進路講演会

6月28日(金)高等部2年生を対象に、現在(株)マルハニチロに勤務している本校の卒業生大竹さん(H28年度卒)による進路講演会と食育学習(お弁当作り)を行いました。会社概要や大竹さんの勤務の様子等をスライドで分かりやすく説明して頂きました。働くことの大変さや楽しさ等も聞くことができ、生徒たちは将来の自分の姿を思い描きながら真剣に聞いていました。



講演後は自分で作れるお弁当作りということで、マルハニチロの冷凍食品を使い一人ひとりが自分でお弁当を作りました。これから夏休みで給食もなくなりますね。作ってもらえばかりではなく、これを機に自分でもお弁当を作ってほしいと思います。



高等部の職業科体験学習

期末テストが終わった7月3日(水)3・4時間目に、中3の6~8組の生徒が高等部職業科の体験学習を行いました。中間テスト終了後にも体験を行ったので、今回は前回体験していない職業科を体験しました。生活デザイン科では食物調理(ピザ作り)、産業工芸科では工業技術(やじろうべえ作り)と実習が主な内容です。高等部を卒業した後の未来図にも考えを向けることの大切さを中3の生徒たちは感じたようです。



進路関係者向け学校公開

6月18日(火)進路関係者(企業・福祉関係者等)30事業所・48名の方が来校されました。障害者の雇用を積極的に行い、本校の卒業生を多く採用している企業の方や今後雇用をしていきたいと考えている企業の方など、多くの方にご参加いただきました。授業見学・施設見学を通して本校の生徒を知っていただく機会となりました。本校の就労支援アドバイザーでもある東京聴覚障害支援事業所所長の矢野様より、「聴覚障害者を雇用する際の配慮点」という演目でご講演頂きました。見学された企業の方は、生徒たちが明るく挨拶する姿や授業の説明を一生懸命する様子に大変感心されていました。また、朝から玄関での案内や受付、終了後の片付けでは専攻科の生徒が大活躍でした。頼りになる生徒たちが沢山いてくれ嬉しい限りです。